

令和5年度 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画書

負担軽減項目	本年度の改善目標	取組項目	本年度評価・次年度へ課題
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	病棟特性に応じた人員配置 時間外労働発生状況の定期的な確認 業務手順の見直し	実施済み 令和6年度も継続実施 応援協力体制をとり、急に休んだ欠員に対応した
看護職員と多職種との業務分担	業務移行が可能な内容と職種について検討	連携部署と分担できる業務を検討	実施済み 令和6年度も継続実施 さらに分担できる業務について検討する場を設け進めていく
看護補助者の配置	看護補助者の確保	看護補助者の確保 適切な教育・研修を実施する	実施済み 令和6年度も継続実施
妊娠・子育て・介護中の看護職員に対する配慮	柔軟な勤務体制の工夫	半日、時間単位の休暇を活用 短時間勤務正職員制度を活用 夜勤については本人の申し出により減免	実施済み 令和6年度も継続実施
夜勤負担の軽減	連続夜勤回数や夜勤の間隔、夜勤後の休日などに配慮した勤務割当表の作成	11時間以上の勤務間隔の確保 夜勤の連続回数が2連続(2回)まで 業務量が多くなる時間帯に手厚い人員配置となるよう勤務を組む	実施済み 令和6年度も継続実施
腰痛予防	腰痛症による職場離脱を防ぐ	腰痛予防ストレッチの継続 腰痛を予防するための手順の見直し 有効な機器の導入	実施済み 令和6年度も継続実施 ノーリフトケアの推進

- 令和5年月 ・腰痛予防対策メンバーに介護福祉士を追加
- 令和5年月 ・ノーリフト研修に参加
- 令和6年1月 ・スライディングボードの配置を確認、再配置